

災害事例 (不休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2022年3月12日(土)	8時50分	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 73才	: 12年
発災時の作業内容	<p>被災者はピット内の酸素濃度およびガス測定実施後、マンホールを開放し、入槽禁止措置を実施した。その後、槽のボトムノズルフランジのボルトを緩めている時、意識が薄れていった。</p> <p>ガス検知器が発報したが、計器室は無人であった。</p> <p>パトロール中の運転員が警報発報に気づき、現場に急行し、被災者がピット内でうずくまっているのを発見した。</p>		
傷病名:部位:程度	ベンゼン中毒	: 意識障害	: 不休業
事故の型:起因物	有害物等との接触	:	槽
原因	不安全な状態	・槽内にベンゼンが残留していた。	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス検知器を携行せずにピット内に入った。 ・防毒マスク、空気呼吸器などを着用していなかった。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な保護具の着用の指示が不十分であった。(初回開放時は危険性が高い) ・監視場所が不適切だった。 ・槽内の液抜きおよびパージが不十分な状態で作業をさせた。(客先) 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な保護具の着用指示を行う。 ・作業者が見える場所に監視人を配置する。 ・槽内の液抜きおよびパージを完全に実施する。(客先) 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り